2026 年 10 月 27 日

大阪科学・大学記者クラブ加盟各社 各位
西宮市政記者クラブ加盟各社 各位
京都大学記者クラブ加盟各社 各位

幹事校　関西大学
関西学院大学
同志社大学
立命館大学

関西四大学「薬物に関する意識調査」報告書について

拝啓
　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
　さて、関西四大学（関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学）では、健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、安心・安全な社会を実現することが大学の責務と考え、2009 年 3 月 7 日に薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。
　その具体策として、四大学は共同のアクションプランを企画し、「委員会の設置・開催」、「教育・調査活動」、「広報活動」の 3 つを柱として、各大学でさまざまな取り組みを実施してまいりました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催しました。こうした活動の一環として、毎年、四大学共同で新入生を対象として「薬物に関する意識調査」を実施し、昨今の学生が薬物についてどのような考えを持っているかなどについてアンケート調査を行い、その結果をとりまとめています。
　このたび送付する報告書は、四大学の 2026 年度新入生 27,505 名を対象に 2026 年 4 月～5 月の期間に実施した「薬物に関する意識調査」の集計結果です。今年度は 21,494 名（回答率 78.1%）の回答を収集いたしました。この調査結果から学生の薬物に対する意識と態度を明らかにし、更なる薬物乱用防止策の企画立案に繋げるだけでなく、他の教育機関や行政機関の諸活動に寄与し、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。
　また、2022 年度から昨年度にかけて、学生と共に取り組む啓発活動として「啓発ポスター」を制作してきました。今年度は、一人ひとりが薬物乱用を自分自身の問題として捉え、正しい判断力を身に付けることを目的として、「薬物乱用防止」をテーマに関西四大学の学生を対象とした「啓発標語」の募集を実施しました。募集の結果、108 点の応募があり、関西四大学薬物乱用防止連絡会において、そのうち 8 点をノミネート作品として選定しました。さらに、四大学の学生による投票を実施し、11 月中に最優秀作品 1 点を決定・発表する予定です。最優秀作品については、今後、関西四大学における薬物乱用防止の啓発活動に活用していく予定です。
　今後も関西四大学は、この結果を基に薬物乱用防止策を企画・立案し、引き続き薬物に関する教育・啓発活動を展開していく所存です。

敬具

＜本件に関する問い合わせ先＞
■四大学全体の取り組みに関すること
　関西大学広報課　　電話 06-6368-0007

■各大学独自の取り組みに関すること

大　　学	関西大学広報課	関西学院広報部	同志社大学広報課	立命館大学広報課
電話番号	06-6368-0007	0798-54-6017	075-251-3120	075-813-8300

以上

2026年度 関西四大学
「薬物に関する意識調査」集計結果　報告書

2026 年度　関西四大学「薬物に関する意識調査」報告書　巻頭言

これまで、大学生の大麻等不正薬物の所持・乱用による事件事故が相次いで発生し、薬物汚染が大きな社会問題に発展しました。こうした状況の下で、 各大学における薬物に関する教育活動が喫緊の課題となり、2009 年 3 月 7 日に関西四大学は、薬物乱用防止に関する共同声明を発表しました。健康で充実したキャンパスライフを学生に保障するとともに、より広い視点に立ち、安全安心の社会を実現するための教育・研究、そして社会的な活動を大学の使命ととらえ、薬物乱用防止のための恒常的・経常的かつ組織的な啓発活動を行い、広く社会に向けてその活動を展開していくことを宣言しました。その具体策として、共同のアクションプランを企画し、共同声明の発表以降、3 つのアクション「委員会の開催・設置」、「教育・調査活動」、「広報活動」を柱に各大学で様々な取り組みを実施してきました。「関西四大学薬物乱用防止連絡会」の設置・開催をはじめ、学生参加のキャンペーンを行い、さらに講演会も開催してきました。

こうした活動の 1 つとして、2009 年 10 月から関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を開始し、同調査も今年度で 18 年目を迎えます。

現在の日本における薬物乱用に関する社会情勢について、警察庁組織犯罪対策部発表の「令和 7 年における組織犯罪の情勢（第 4 章：薬物・銃器情勢)」によると、薬物事犯の検挙人員は、近年横ばいで推移し、令和 7 年中は 1 万 4,574 人（前年比 + 1,112 人）と前年より増加しました。大麻事犯の検挙人員は、平成 26 年以降増加傾向が続いていたところ、令和 7 年中は 6,832 人（前年比 + 754 人）と、前年より大幅に増加し過去最多となっています。また、大麻事犯における年齢層別の検挙人員は、最多が 20 歳代の 3,633 人で、次いで 20 歳未満の 1,373 人となっており、20 歳代以下の若年層が全体の 7 割以上を占めるなど、引き続き若年層への薬物乱用防止の啓発活動が重要であることは明白です。

大麻の販売・流通は組織化・巧妙化が進み、例えばインターネットや SNS 上では絵文字や隠語を用いた大麻や大麻成分入り薬物や食品などの密売、匿名性の高い通信アプリによる勧誘によって、販売ルートは多様化しており、大麻や危険ドラッグ等を入手することが容易になっています。さらに、市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）も依然として社会問題となっており、若年層を取り巻く薬物乱用問題の動向について引き続き注視し、予防啓発を推進していく必要があります。

私たちは、関西四大学共同の「薬物に関する意識調査」を今後も継続して実施することにより、啓発しながらも学生の薬物に対する意識と態度等、若年層における薬物事情の変遷を明らかにし、さらなる薬物乱用防止策の企画立案に役立てるだけでなく、社会に対して警鐘を鳴らすことができるのではないかと考えています。

今回も、大学入学前の中学・高校等における啓発活動の成果を反映させるべく、関西四大学の入学直後の新入生を対象にアンケート調査を実施しました。その結果、新入生が大学入学以前から薬物乱用防止に関する教育を受け、さまざまな形で薬物についての情報に接している一方で、引き続き、ごく少数であるが薬物に接触する危険性がこれまで同様に存在していることが明らかになりました。

関西四大学では 2009 年 10 月から続くこの調査結果について、真摯に受けとめ、今後さらに慎重に検討を加え、引き続き薬物乱用防止のための教育活動を展開していきます。加えて、他の教育機関や行政機関の諸活動においても今回の調査結果が役立つことを願っています。

2026 年 10 月

関西大学学長　　高橋　智幸
関西学院大学学長　森　　康俊
同志社大学学長　　小原　克博
立命館大学学長　　仲谷　善雄

Ⅰ　調査対象

対象者数　：　2026年度入学生 27,505名（関西四大学合計人数）
実施期間　：　各大学により定められた期間（2026年4～5月）
調査方法　：　WEBアンケート
回答数（率）　：　21,494 名（78.1%）

Ⅱ　集計結果

各質問への回答状況は、次ページ以降のグラフ及び集計表のとおりである。
主な回答の集計結果について

◇質問1　　あなたは、薬物乱用問題について危機感や不安を感じていますか？（1つ選択）

＜回答＞	2026年度	参考値
非常に感じている	36.5%	2025年度との比較+3.7 ポイント
ある程度感じている	35.4%	2025年度との比較-0.1 ポイント
どちらともいえない	9.6%	2025年度との比較-2.4 ポイント
あまり感じていない	8.9%	2025年度との比較-0.2 ポイント
ほとんど感じていない	9.5%	2025年度との比較-1.0 ポイント

前年度同様、薬物乱用問題について「非常に感じている」と「ある程度感じている」という回答が最も多かった。「非常に感じている」という回答が最も多く、前年度より3.7ポイント増加している。

◇質問2　　あなたは、以下の薬物の名前を知っていますか。（複数選択可）

＜回答＞	2026年度	参考値
有機溶剤（シンナー、トルエンなど）	71.5%	2025年度との比較-1.5 ポイント
覚せい剤（シャブ、スピード、エスなど）	86.6%	2025年度との比較+0.1 ポイント
大麻（マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど）	93.7%	2025年度との比較+1.1 ポイント
コカイン（コーク、スノウ、クラックなど）	83.6%	2025年度との比較+1.7 ポイント
あへん類（ヘロインなど）	59.8%	2025年度との比較-0.4 ポイント
LSD（アシッド、フェニックス、ドラゴンなど）	19.1%	2025年度との比較-1.1 ポイント
MDMA（エクスタシーなど）	53.8%	2025年度との比較-1.2 ポイント
いわゆる危険ドラッグ（脱法ハーブ、ゾンビたばこなど）	60.4%	2025年度との比較+3.9 ポイント
大麻入り食品（大麻グミなど）	67.4%	2025年度との比較+3.4 ポイント
知っているものはない	2.9%	2025年度との比較-0.5 ポイント

依然としてほとんどの薬物名について過半数の学生が認知している。今年度より「いわゆる危険ドラッグ（脱法ハーブなど）」に「ゾンビたばこなど」も加わったが、前年度より3.9ポイント増加している。

◇質問11　　あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。（1つ選択）

＜回答＞	2026年度	参考値
どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	91.3%	2025年度との比較+0.0 ポイント
1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	0.8%	2025年度との比較-0.1 ポイント
他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	6.8%	2025年度との比較+0.3 ポイント

前年度同様「どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない」という回答が最も多かったが、「1回位ならかまわない」「使うかどうかは個人の自由」と考えている学生も依然として一定数存在している。

◇質問13　あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

＜回答＞	2026年度	参考値
誘われたり、勧められたことはない	94.7%	2025年度との比較+0.6 ポイント
購入を勧められたことがある	0.4%	2025年度との比較0.0 ポイント
使用を誘われたことがある	0.8%	2025年度との比較−0.1 ポイント
無理やり使わされたことがある	0.1%	2025年度との比較−0.1 ポイント
わからない	3.9%	2025年度との比較−0.3 ポイント

「誘われたり、勧められたことはない」という回答が最も多く、前年度より0.6ポイント増加しているが、「購入を勧められた」「使用を誘われた」「無理やり使わされた」と回答した学生も少数ながら存在している。

◇質問15(ア)　あなたの身近な周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)

＜回答＞	2026年度	参考値
いない	91.9%	2025年度との比較+2.5 ポイント
いる(いた)	2.5%	2025年度との比較−0.8 ポイント
わからない	5.6%	2025年度との比較−1.7 ポイント

「いない」という回答が最も多く、前年度より2.5ポイント増加しているが、「いる(いた)」と回答した学生も少数ながら存在しており、薬物の所持・使用の可能性が、学生の身近にあることをうかがわせる。

◇質問15(イ)　【質問15(ア)で「2 いる(いた)」を選択した人だけお答えください】
前の質問で「いる(いた)」と回答した人だけお答えください。どの薬物でしたか。(複数選択可)

＜回答＞	2026年度	参考値
有機溶剤(シンナー、トルエンなど)	6.3%	2025年度との比較−0.2 ポイント
覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)	15.3%	2025年度との比較+3.3 ポイント
大麻(マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	47.6%	2025年度との比較−3.6 ポイント
コカイン(コーク、スノウ、クラックなど)	3.5%	2025年度との比較−1.2 ポイント
あへん類(ヘロインなど)	0.9%	2025年度との比較−0.3 ポイント
LSD(アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	2.2%	2025年度との比較−0.8 ポイント
MDMA(エクスタシーなど)	2.6%	2025年度との比較−0.7 ポイント
いわゆる危険ドラッグ(脱法ハーブ、ゾンビたばこなど)	2.6%	2025年度との比較+1.1 ポイント
大麻入り食品(大麻グミなど)	7.0%	2025年度との比較+1.6 ポイント
わからない	33.2%	2025年度との比較0.0 ポイント

所持もしくは使用している薬物について、前年と比較し全体的に減少しているが、「覚せい剤(シャブ、スピード、エスなど)」という回答は3.3ポイント増加している。

◇質問17　あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。（複数選択可）

＜回答＞	2026年度	参考値
警察の相談窓口	39.4%	2025年度との比較+0.8 ポイント
行政機関の相談窓口（精神保健福祉センター等）	14.2%	2025年度との比較+0.6 ポイント
厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	9.0%	2025年度との比較+0.5 ポイント
医療機関の相談窓口	12.5%	2025年度との比較+0.4 ポイント
民間の支援団体の相談窓口	9.0%	2025年度との比較+0.4 ポイント
知らない	52.6%	2025年度との比較−0.8 ポイント

警察と並んで行政機関や医療機関が窓口として認知されている。また、「知らない」と回答した学生は減少しており、相談窓口が認知されはじめていると考えられる。

◇質問18　あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何ですか。（複数選択可）

＜回答＞	2026年度	参考値
薬物乱用による健康被害情報	63.4%	2025年度との比較+0.3 ポイント
薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	45.9%	2025年度との比較+2.2 ポイント
国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	15.9%	2025年度との比較−0.4 ポイント
医療機関や民間支援団体の取り組み情報	14.4%	2025年度との比較−0.5 ポイント
特にない	18.1%	2025年度との比較−0.6 ポイント

前年度同様「健康被害情報」や「事件・事故の事例情報」提供への関心が高いが、特に「事件・事故の事例情報」は2.2ポイント増加している。

◇質問19（ア） あなたは、これらの薬物を入手することが可能ですか。（1つ選択）

＜回答＞	2026年度	参考値
不可能だ	81.8%	2025年度との比較+1.6 ポイント
かなり難しい	11.4%	2025年度との比較-0.8 ポイント
難しいが手に入る	5.2%	2025年度との比較-0.7 ポイント
手に入る	1.6%	2025年度との比較-0.2 ポイント

前年度同様、「不可能だ」と「かなり難しい」という回答が最も多く、前年に続き入手することが困難になっていることがうかがえる。

◇質問19（イ） 【質問19（ア）で「3 難しいが手に入る」または「4 手に入る」を選択した人だけお答えください】入手可能と考えた理由はなんですか。（複数選択可）

＜回答＞	2026年度	参考値
SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから	77.7%	2025年度との比較+0.2 ポイント
SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	17.5%	2025年度との比較+2.7 ポイント
友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	13.4%	2025年度との比較0.0 ポイント
繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから	17.7%	2025年度との比較-0.5 ポイント
それ以外	4.2%	2025年度との比較+0.6 ポイント

「SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから」という回答が2.7ポイント増加しており、身近さや手軽さが薬物入手のハードルを下げている状況にある。

◇質問20 あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品（脱法ハーブ、合法アロマリキッド、ゾンビたばこなど）の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になっていることを知っていますか。（1つ選択）

＜回答＞	2026年度	参考値
知っている	76.4%	2025年度との比較+5.1 ポイント
知らなかった	23.6%	2025年度との比較-5.1 ポイント

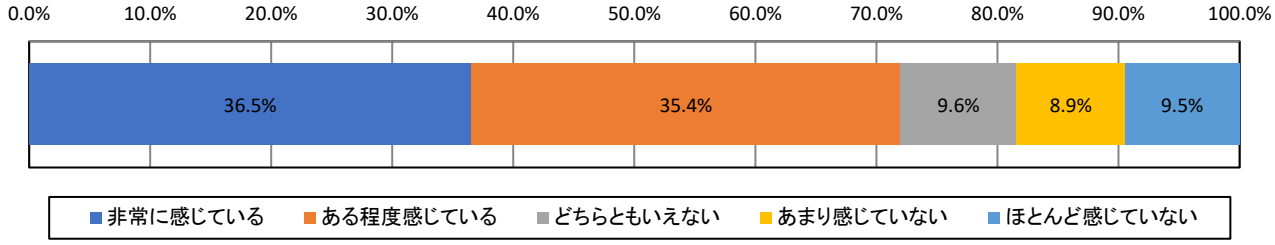
「知っている」という回答が5.1ポイント増加しているが、引き続き危険ドラッグに対する正しい知識を更に啓発していく必要があると考える。

◇質問21 あなたは、「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」が社会問題になっていることを知っていますか。（1つ選択）「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」とは、市販薬（かぜ薬・解熱剤・鎮痛剤・睡眠薬など）を定められた用法・用量以上に服用する（過剰摂取する）ことで、薬物への依存が高まるだけでなく、内臓機能障害や最悪の場合は心肺停止で死亡するケースもある、薬物乱用の一種です。

＜回答＞	2026年度	参考値
知っている	85.5%	2025年度との比較+3.7 ポイント
知らなかった	14.5%	2025年度との比較-3.7 ポイント

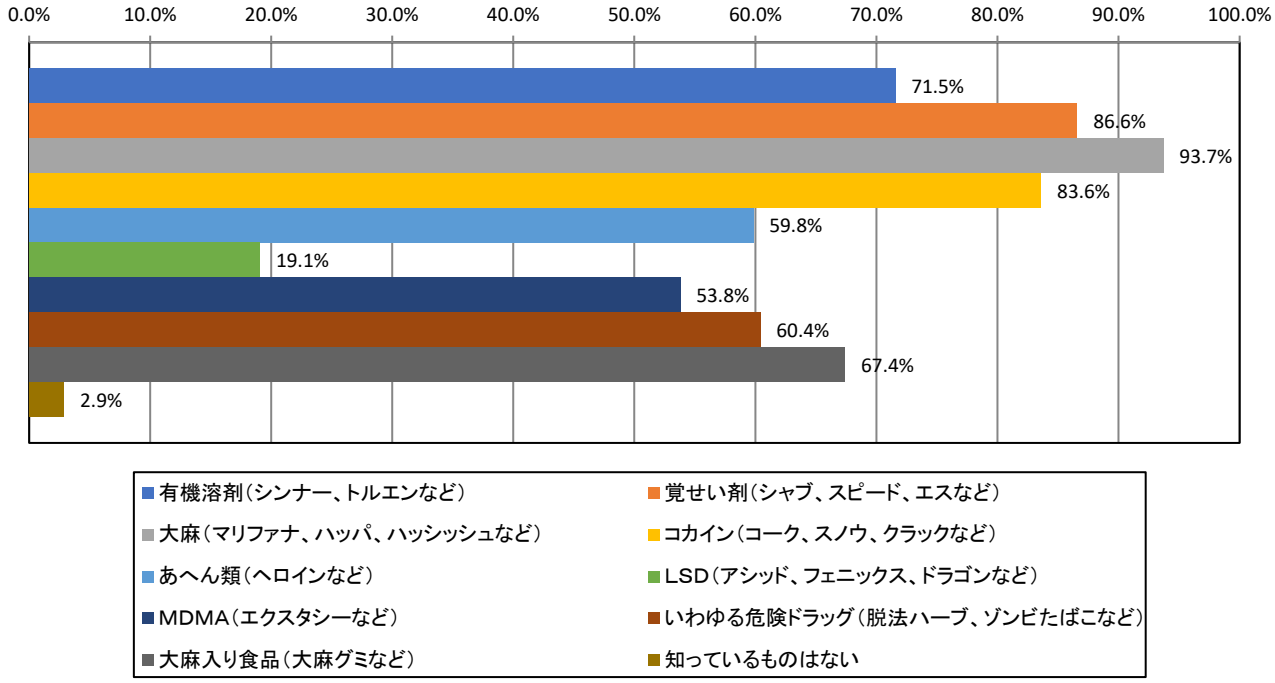
オーバードーズに対する認知度は全体的に高い傾向にあり、前年度から3.7ポイント増加している。引き続き認知度が高まるような取り組みが望まれる。

共通質問1　　あなたは、薬物乱用問題について危機感や不安を感じていますか？
（1つ選択）



No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	非常に感じている	7,854	36.5%
2	ある程度感じている	7,618	35.4%
3	どちらともいえない	2,066	9.6%
4	あまり感じていない	1,919	8.9%
5	ほとんど感じていない	2,037	9.5%
	合計	21,494	100.0%

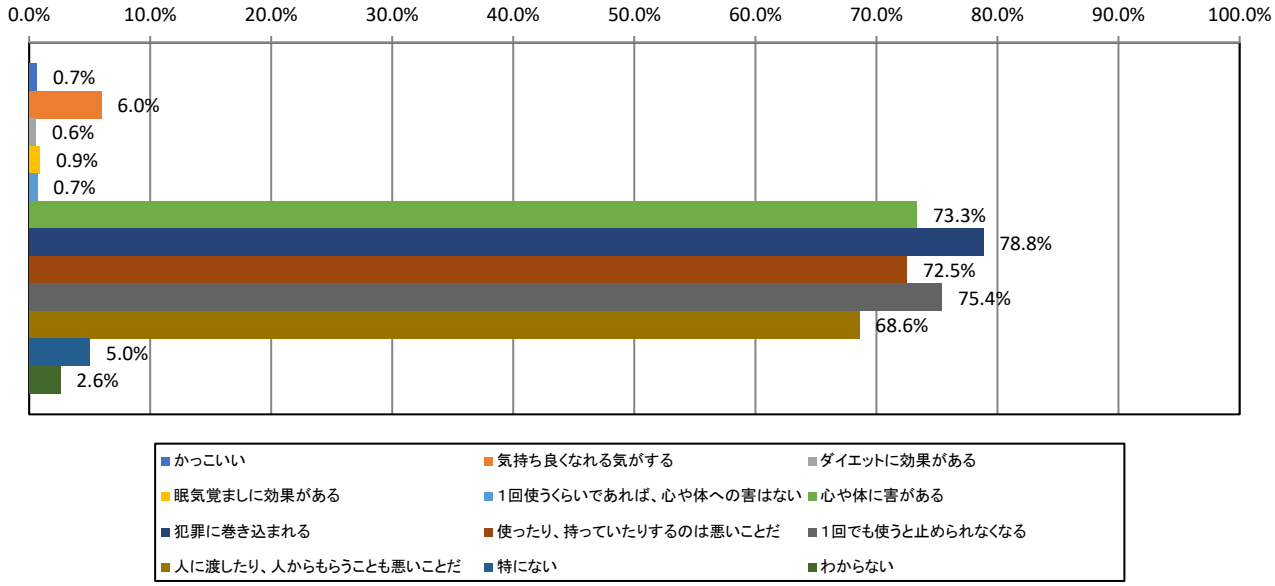
共通質問2　　あなたは、以下の薬物の名前を知っていますか。
（複数選択可）



No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	有機溶剤（シンナー、トルエンなど）	15,378	71.5%
2	覚せい剤（シャブ、スピード、エスなど）	18,609	86.6%
3	大麻（マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど）	20,141	93.7%
4	コカイン（コーク、スノウ、クラックなど）	17,970	83.6%
5	あへん類（ヘロインなど）	12,858	59.8%
6	LSD（アシッド、フェニックス、ドラゴンなど）	4,098	19.1%
7	MDMA（エクスタシーなど）	11,563	53.8%
8	いわゆる危険ドラッグ（脱法ハーブ、ゾンビたばこなど）	12,982	60.4%
9	大麻入り食品（大麻グミなど）	14,488	67.4%
10	知っているものはない	620	2.9%
	合計	21,494	

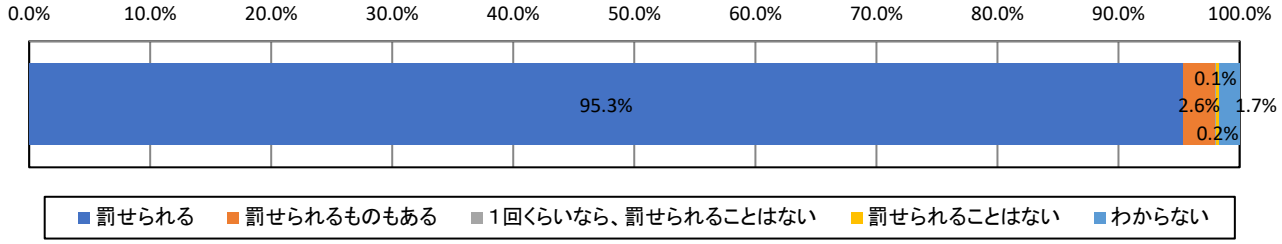
【前の質問であげた薬物についてお聞きします】

共通質問3　　あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。
（複数選択可）



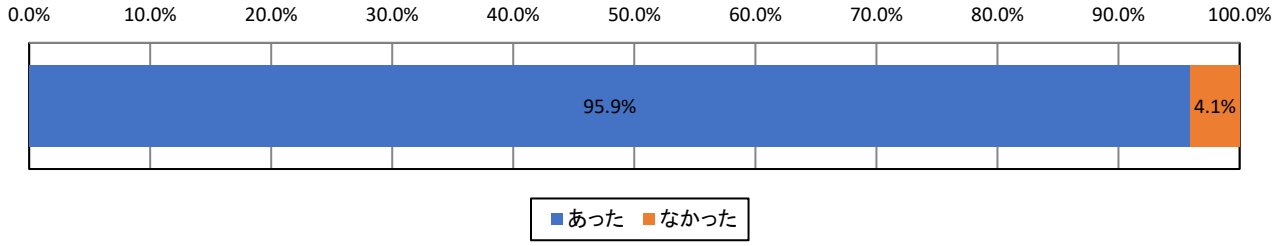
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	かっこいい	142	0.7%
2	気持ち良くなれる気がする	1,283	6.0%
3	ダイエットに効果がある	124	0.6%
4	眠気覚ましに効果がある	192	0.9%
5	1回使うくらいであれば、心や体への害はない	148	0.7%
6	心や体に害がある	15,765	73.3%
7	犯罪に巻き込まれる	16,941	78.8%
8	使ったり、持っていたりするのは悪いことだ	15,584	72.5%
9	1回でも使うと止められなくなる	16,207	75.4%
10	人に渡したり、人からもらうことも悪いことだ	14,744	68.6%
11	特にない	1,083	5.0%
12	わからない	557	2.6%
	合計	21,494	

共通質問4　　あなたは、これらの薬物を使ったり、持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなると思いますか。
（1つ選択）



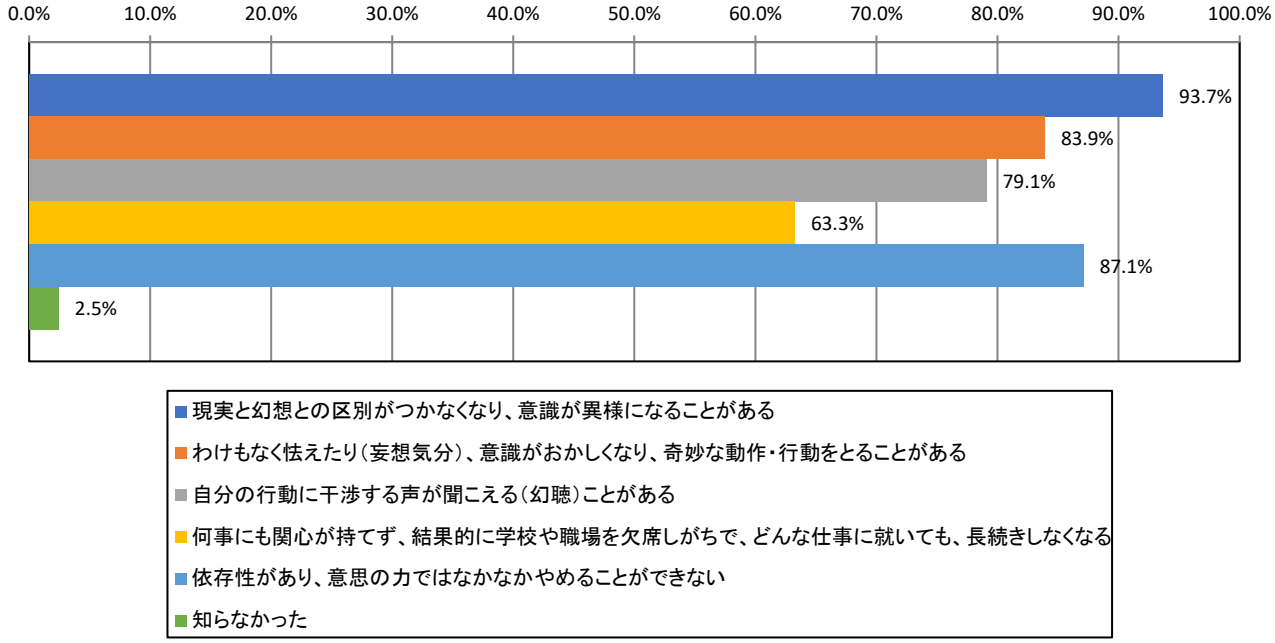
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	罰せられる	20,494	95.3%
2	罰せられるものもある	559	2.6%
3	1回くらいなら、罰せられることはない	30	0.1%
4	罰せられることはない	44	0.2%
5	わからない	367	1.7%
	合計	21,494	100.0%

共通質問5　　あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。
（どちらかを選択）



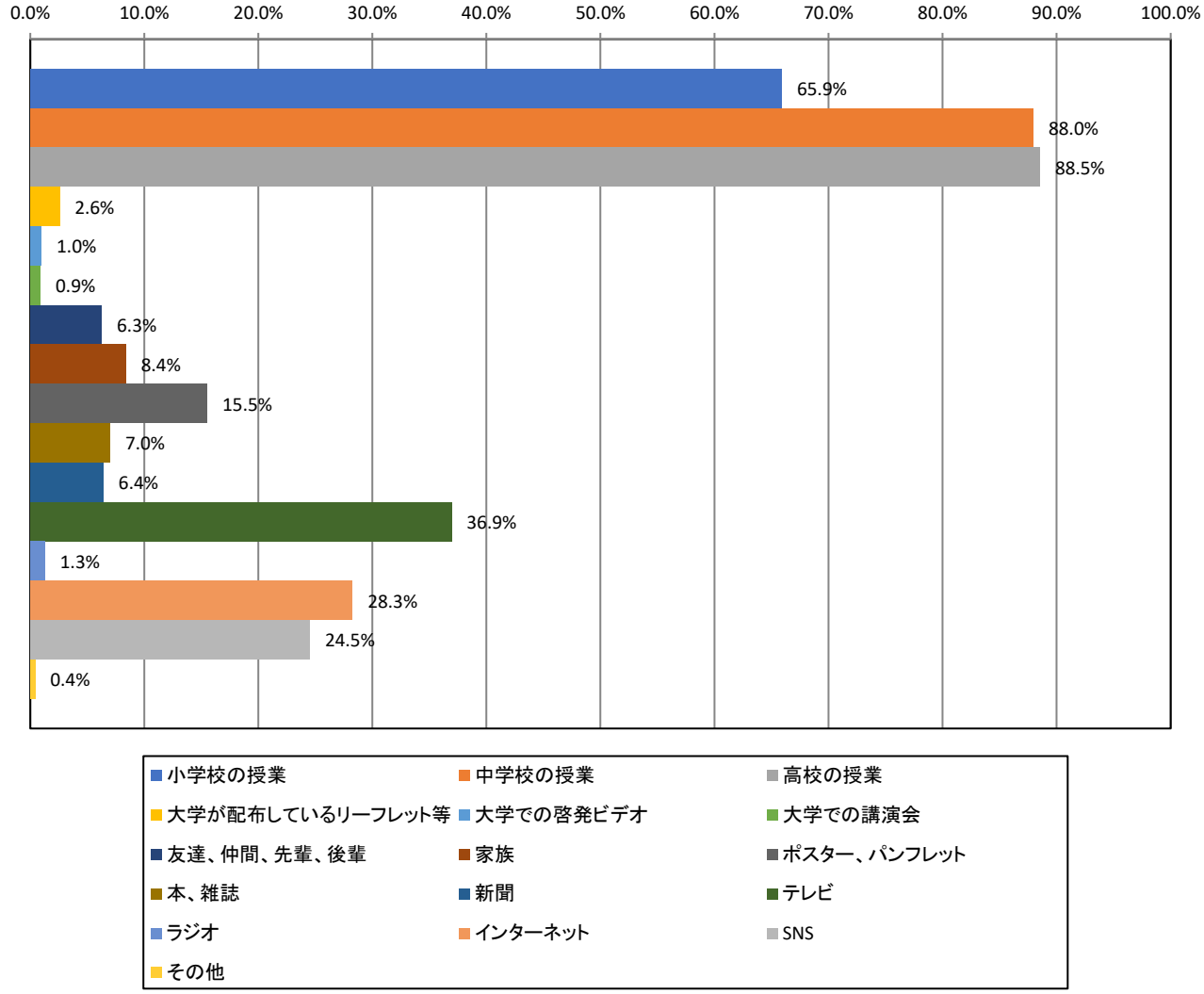
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	あった	20,620	95.9%
2	なかった	874	4.1%
	合計	21,494	100.0%

共通質問6　　あなたは、薬物を使った場合、以下のようになることがあるのを知っていましたか。
（複数選択可）



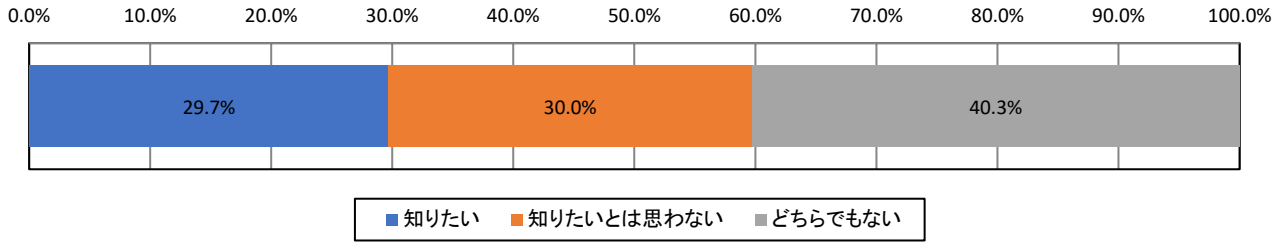
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	20,135	93.7%
2	わけもなく怯えたり（妄想気分）、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	18,033	83.9%
3	自分の行動に干渉する声が聞こえる（幻聴）ことがある	17,003	79.1%
4	何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	13,597	63.3%
5	依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	18,723	87.1%
6	知らなかった	528	2.5%
	合計	21,494	

共通質問7　　あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。
（複数選択可）



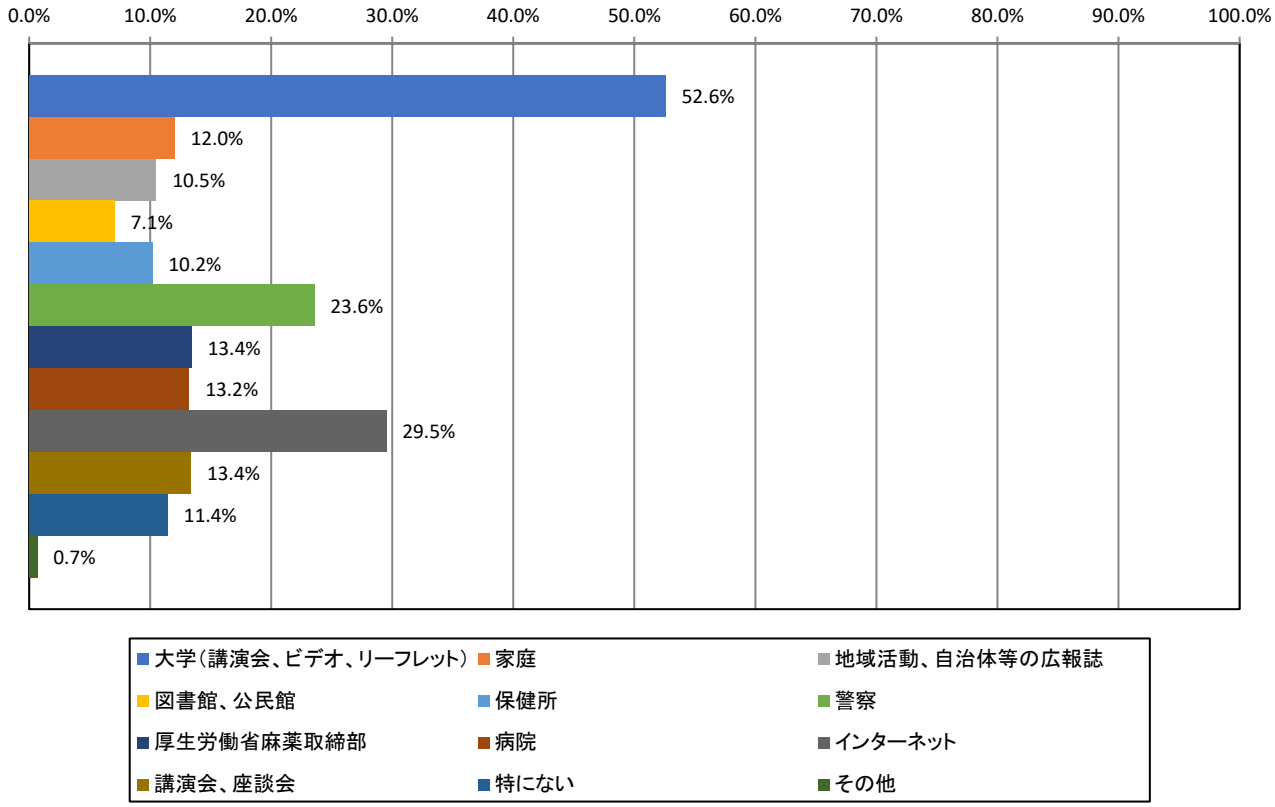
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	小学校の授業	14,167	65.9%
2	中学校の授業	18,907	88.0%
3	高校の授業	19,029	88.5%
4	大学が配布しているリーフレット等	553	2.6%
5	大学での啓発ビデオ	212	1.0%
6	大学での講演会	195	0.9%
7	友達、仲間、先輩、後輩	1,350	6.3%
8	家族	1,803	8.4%
9	ポスター、パンフレット	3,337	15.5%
10	本、雑誌	1,504	7.0%
11	新聞	1,379	6.4%
12	テレビ	7,941	36.9%
13	ラジオ	277	1.3%
14	インターネット	6,074	28.3%
15	SNS	5,270	24.5%
16	その他	92	0.4%
	合計	21,494	

共通質問8　　あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ（有害性、危険性）をもっと知りたいですか。
（1つ選択）



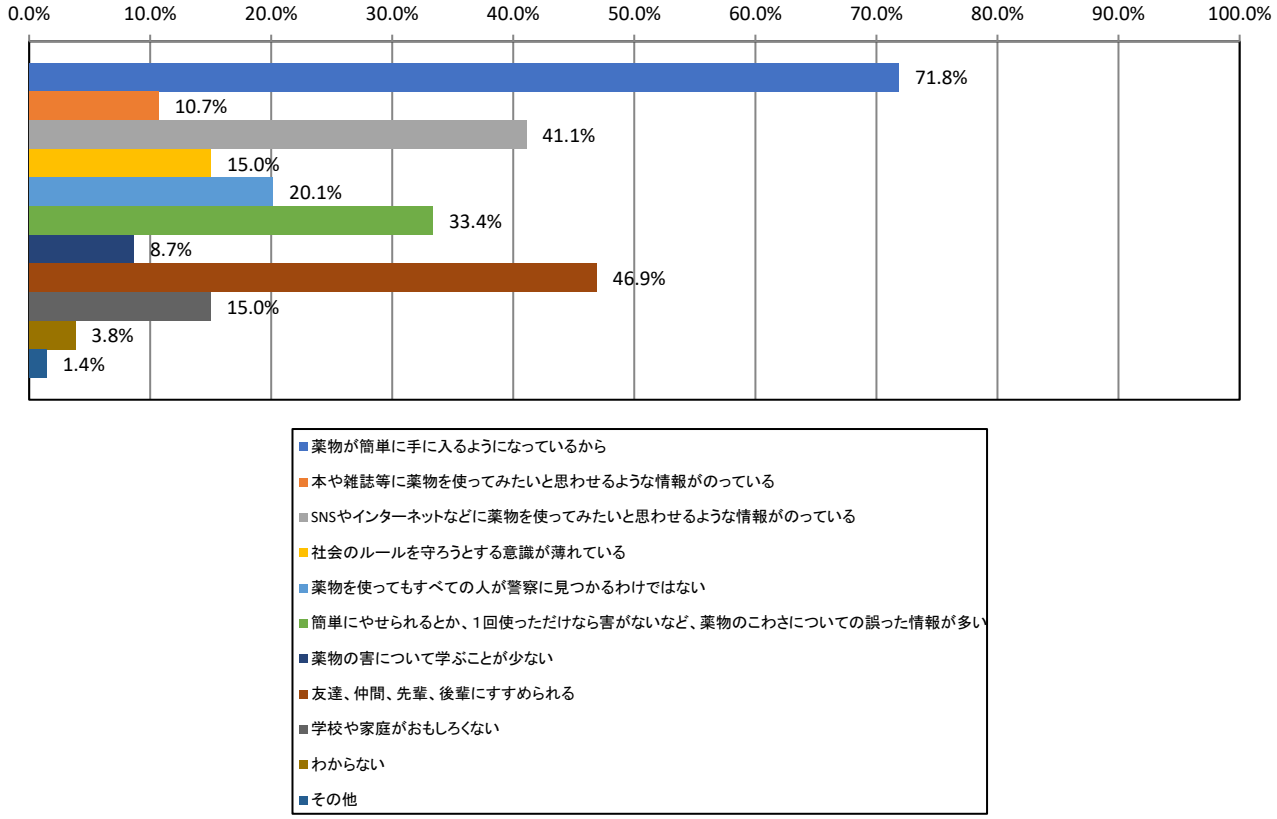
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	知りたい	6,387	29.7%
2	知りたいとは思わない	6,445	30.0%
3	どちらでもない	8,662	40.3%
	合計	21,494	100.0%

共通質問9　　あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこが良いと思いますか。
（複数選択可）



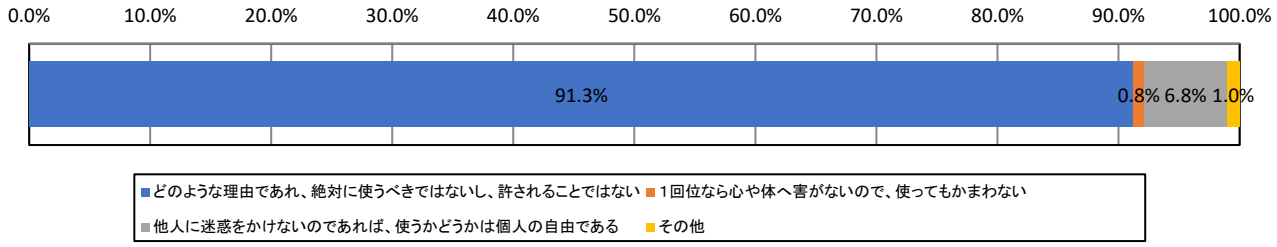
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	大学（講演会、ビデオ、リーフレット）	11,302	52.6%
2	家庭	2,579	12.0%
3	地域活動、自治体等の広報誌	2,257	10.5%
4	図書館、公民館	1,519	7.1%
5	保健所	2,188	10.2%
6	警察	5,064	23.6%
7	厚生労働省麻薬取締部	2,884	13.4%
8	病院	2,842	13.2%
9	インターネット	6,342	29.5%
10	講演会、座談会	2,872	13.4%
11	特にない	2,460	11.4%
12	その他	146	0.7%
	合計	21,494	

共通質問10　　あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。
（複数選択可）



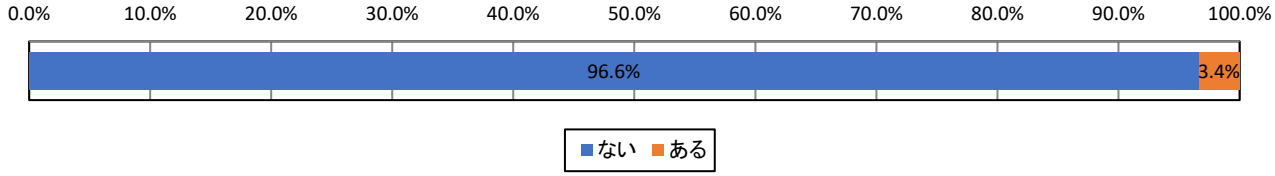
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	薬物が簡単に手に入るようになっているから	15,443	71.8%
2	本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	2,295	10.7%
3	SNSやインターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	8,827	41.1%
4	社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	3,226	15.0%
5	薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	4,330	20.1%
6	簡単にやせられるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	7,172	33.4%
7	薬物の害について学ぶことが少ない	1,861	8.7%
8	友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	10,079	46.9%
9	学校や家庭がおもしろくない	3,220	15.0%
10	わからない	823	3.8%
11	その他	310	1.4%
	合計	21,494	

共通質問11　　あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。
（1つ選択）



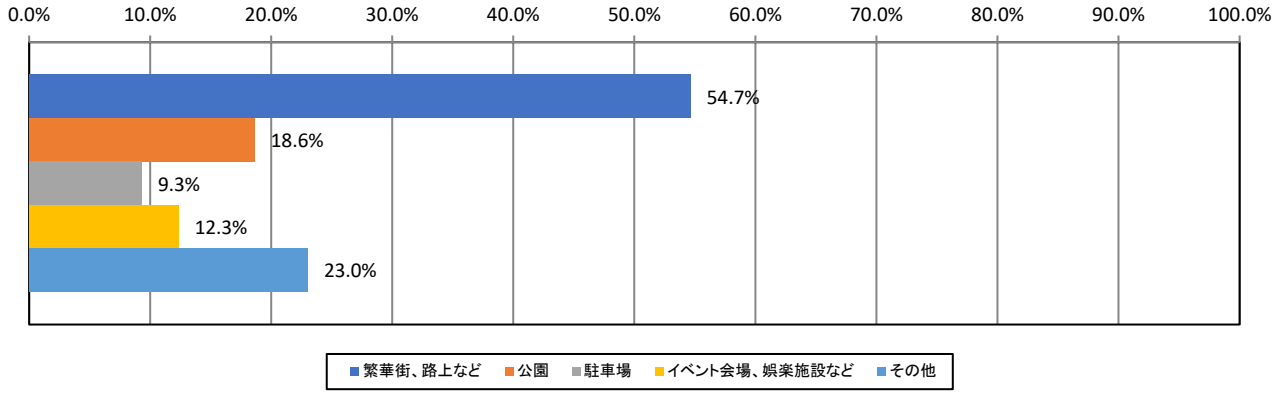
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	どのような理由であれ、絶対に使うべきではないし、許されることではない	19,618	91.3%
2	1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	180	0.8%
3	他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	1,472	6.8%
4	その他	224	1.0%
	合計	21,494	100.0%

共通質問12（ア） あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。
＜テレビ、映画、インターネット、報道等で見たものは除きます＞（どちらかを選択）



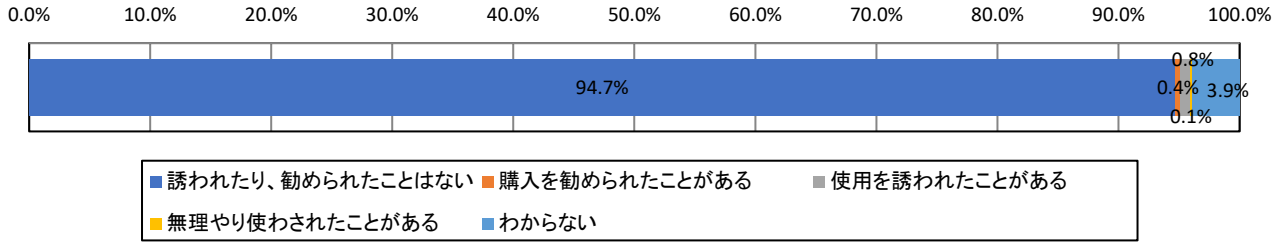
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	ない	20,764	96.6%
2	ある	730	3.4%
	合計	21,494	100.0%

共通質問12（イ） 前の質問で「ある」と回答した人だけお答えください。
どこで見ましたか。
（複数選択可）



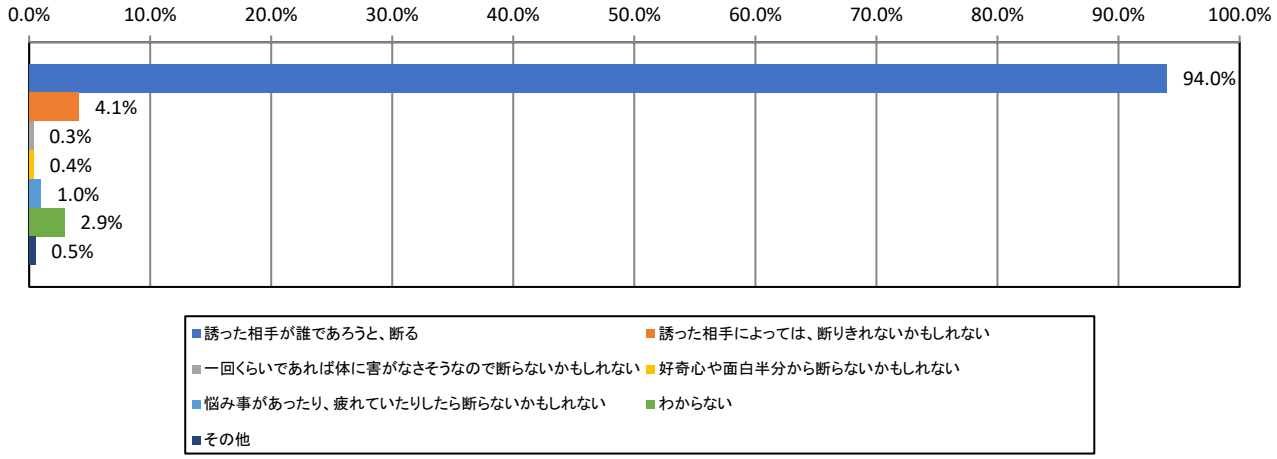
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	繁華街、路上など	399	54.7%
2	公園	136	18.6%
3	駐車場	68	9.3%
4	イベント会場、娯楽施設など	90	12.3%
5	その他	168	23.0%
	合計	730	

共通質問13　　あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。
（1つ選択）



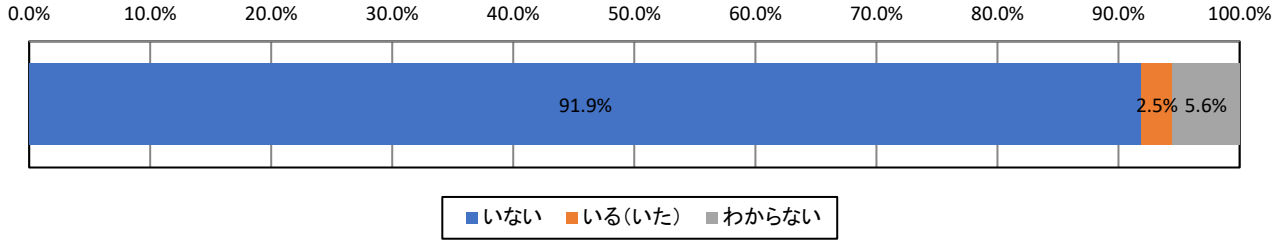
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	誘われたり、勧められたことはない	20,354	94.7%
2	購入を勧められたことがある	96	0.4%
3	使用を誘われたことがある	168	0.8%
4	無理やり使わされたことがある	28	0.1%
5	わからない	848	3.9%
	合計	21,494	100.0%

共通質問14　　あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。
（複数選択可）



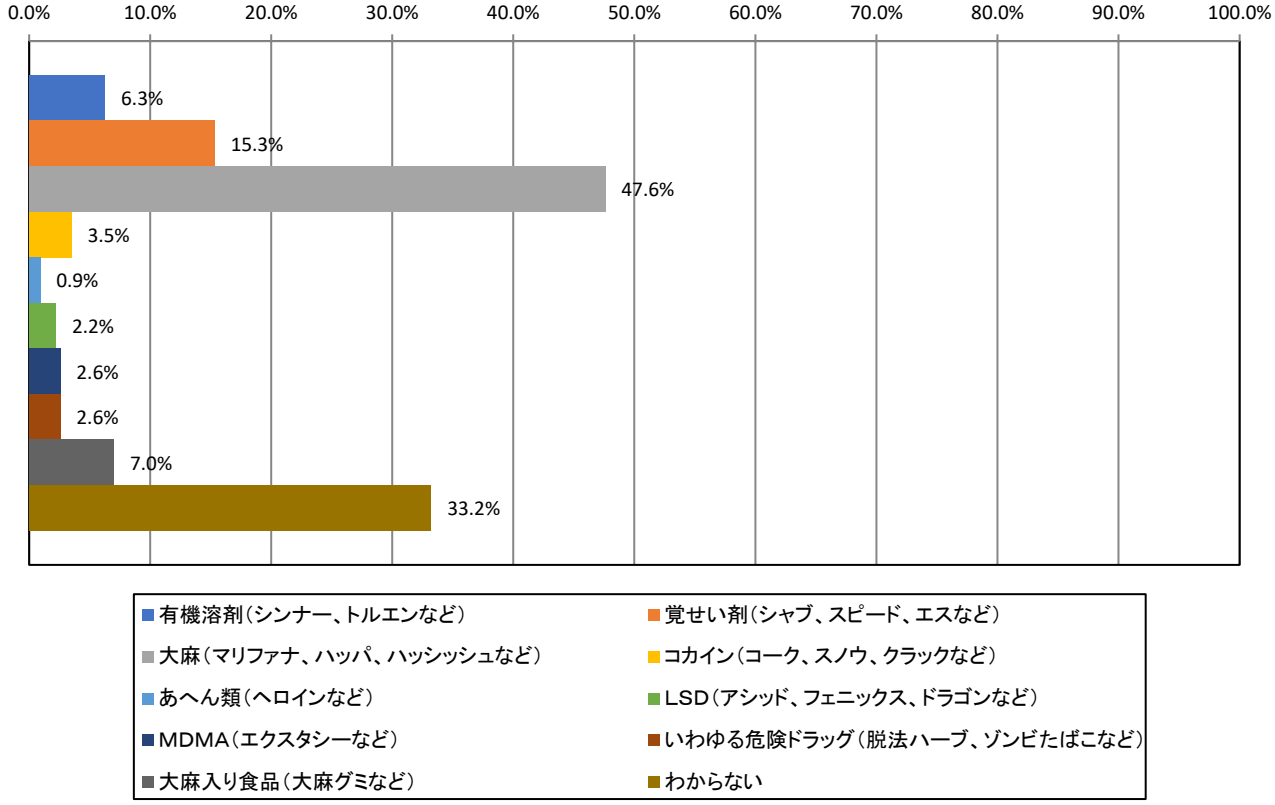
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	誘った相手が誰であろうと、断る	20,204	94.0%
2	誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	886	4.1%
3	一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	75	0.3%
4	好奇心や面白半分から断らないかもしれない	85	0.4%
5	悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	212	1.0%
6	わからない	626	2.9%
7	その他	111	0.5%
	合計	21,494	

共通質問15（ア） あなたの身近な周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している（いた）人がいますか。
（1つ選択）



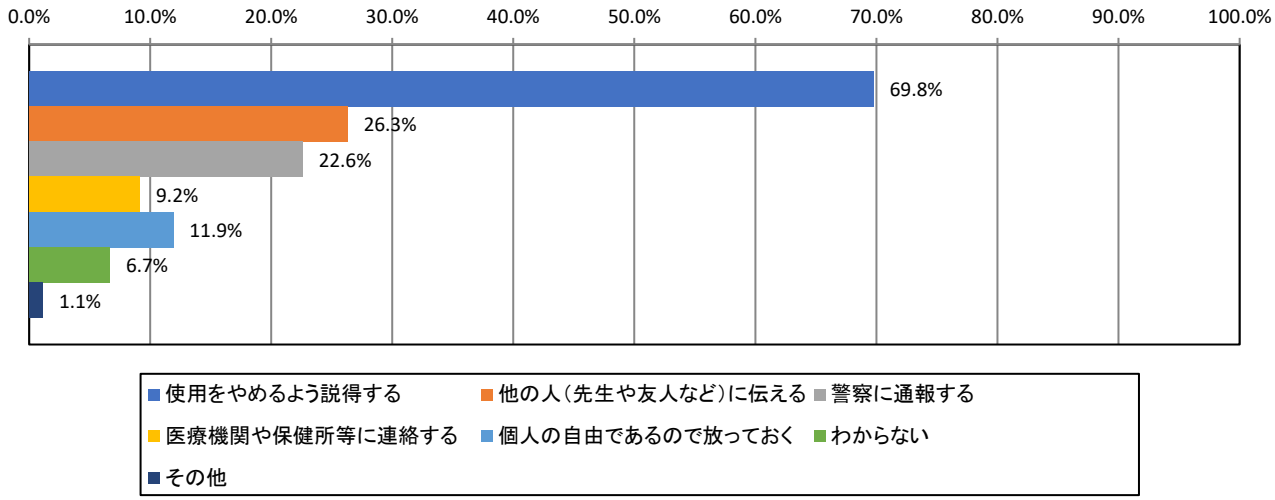
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	いない	19,757	91.9%
2	いる（いた）	542	2.5%
3	わからない	1,195	5.6%
	合計	21,494	100.0%

【前の質問で「2 いる（いた）」を選択した人だけお答えください】
共通質問15（イ） 前の質問で「いる（いた）」と回答した人だけお答えください。
どの薬物でしたか。
（複数選択可）



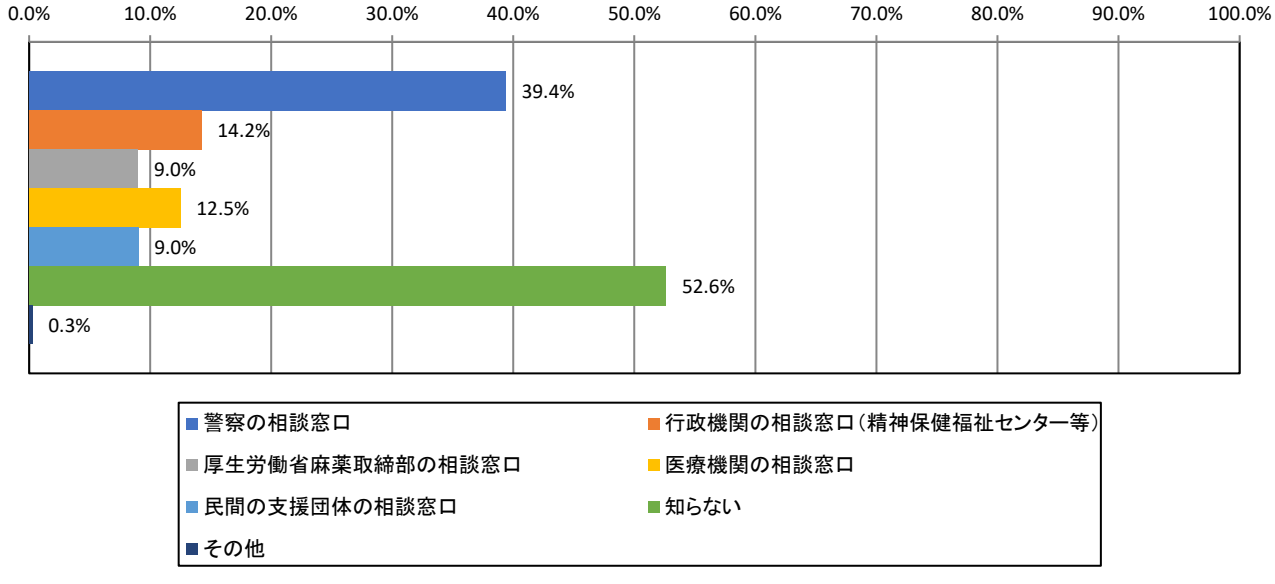
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	有機溶剤（シンナー、トルエンなど）	34	6.3%
2	覚せい剤（シャブ、スピード、エスなど）	83	15.3%
3	大麻（マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど）	258	47.6%
4	コカイン（コーク、スノウ、クラックなど）	19	3.5%
5	あへん類（ヘロインなど）	5	0.9%
6	LSD（アシッド、フェニックス、ドラゴンなど）	12	2.2%
7	MDMA（エクスタシーなど）	14	2.6%
8	いわゆる危険ドラッグ（脱法ハーブ、ゾンビたばこなど）	14	2.6%
9	大麻入り食品（大麻グミなど）	38	7.0%
10	わからない	180	33.2%
	合計	542	

共通質問16　　あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。
（複数選択可）



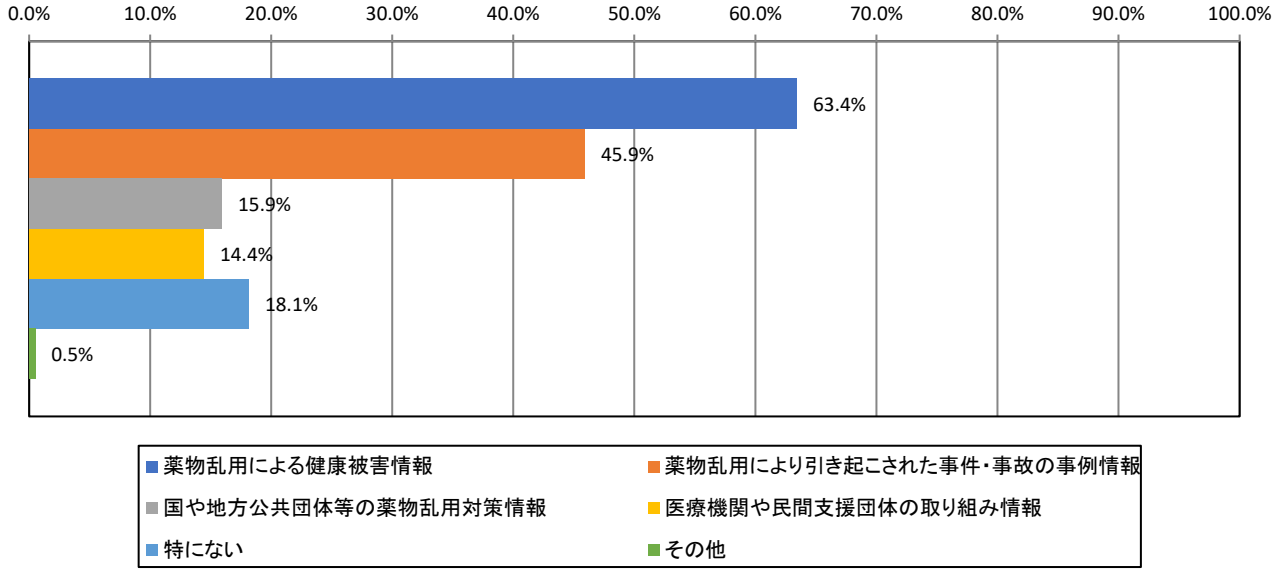
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	使用をやめるよう説得する	14,996	69.8%
2	他の人（先生や友人など）に伝える	5,653	26.3%
3	警察に通報する	4,854	22.6%
4	医療機関や保健所等に連絡する	1,972	9.2%
5	個人の自由であるので放っておく	2,560	11.9%
6	わからない	1,435	6.7%
7	その他	247	1.1%
	合計	21,494	

共通質問17　　あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。
（複数選択可）



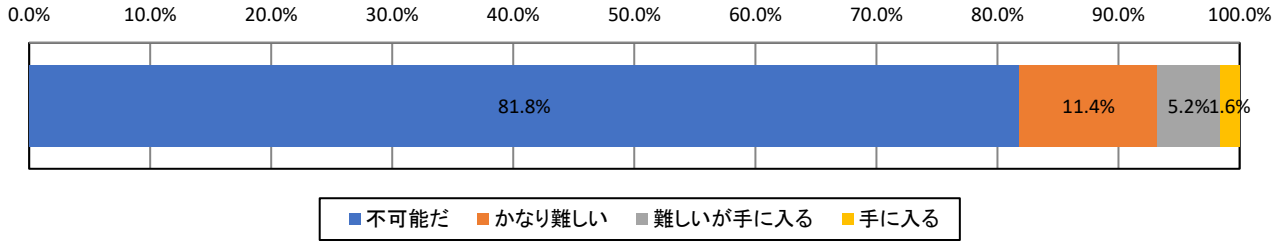
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	警察の相談窓口	8,462	39.4%
2	行政機関の相談窓口（精神保健福祉センター等）	3,057	14.2%
3	厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	1,932	9.0%
4	医療機関の相談窓口	2,685	12.5%
5	民間の支援団体の相談窓口	1,938	9.0%
6	知らない	11,306	52.6%
7	その他	59	0.3%
	合計	21,494	

共通質問18　　あなたや、あなたのまわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何ですか。
（複数選択可）



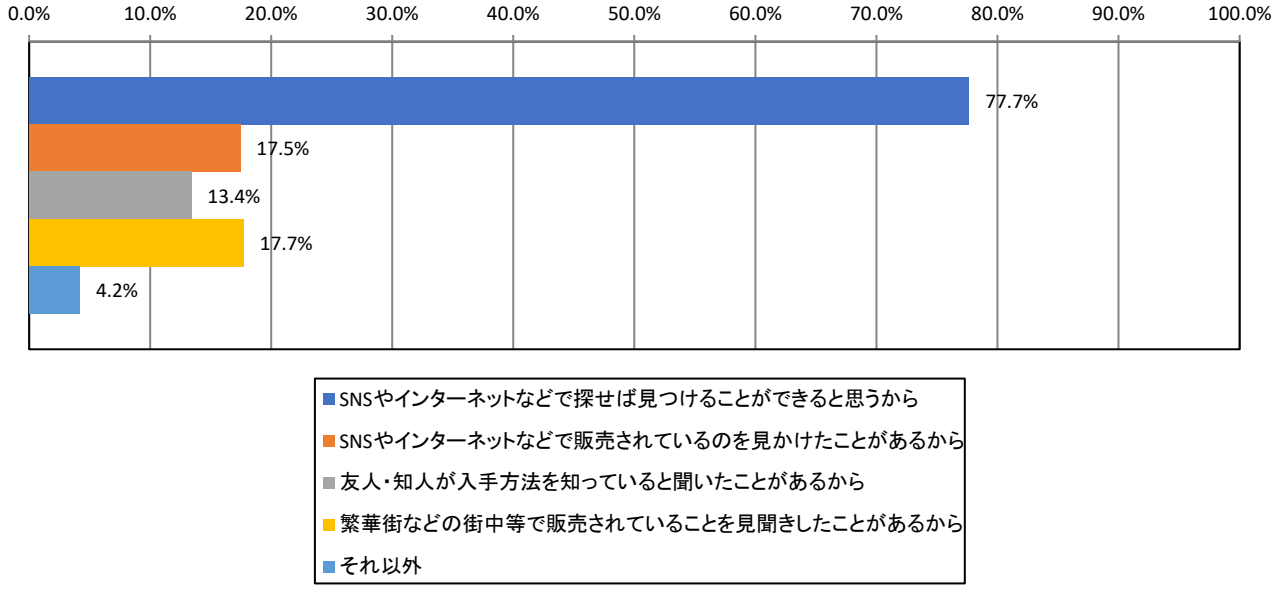
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	薬物乱用による健康被害情報	13,635	63.4%
2	薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	9,869	45.9%
3	国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	3,425	15.9%
4	医療機関や民間支援団体の取り組み情報	3,104	14.4%
5	特にない	3,901	18.1%
6	その他	110	0.5%
	合計	21,494	

共通質問19（ア） あなたは、これらの薬物を入手することが可能ですか。
（1つ選択）



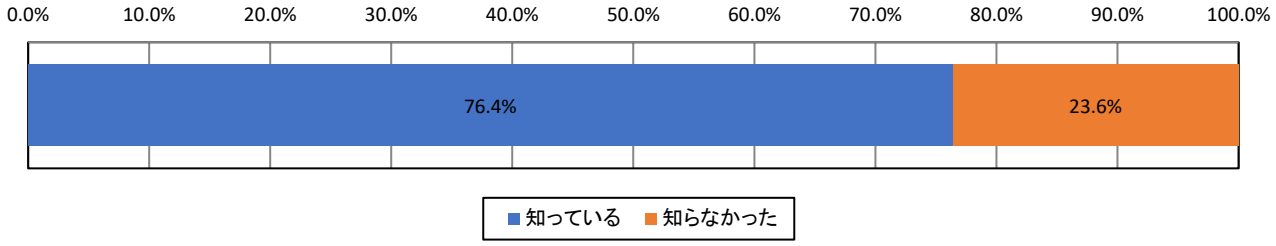
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	不可能だ	17,585	81.8%
2	かなり難しい	2,454	11.4%
3	難しいが手に入る	1,107	5.2%
4	手に入る	348	1.6%
	合計	21,494	100.0%

【前の質問で「3　難しいが手に入る」または「4　手に入る」を選択した人だけお答えください】
共通質問19（イ） 入手可能と考えた理由はなんですか。
（複数選択可）



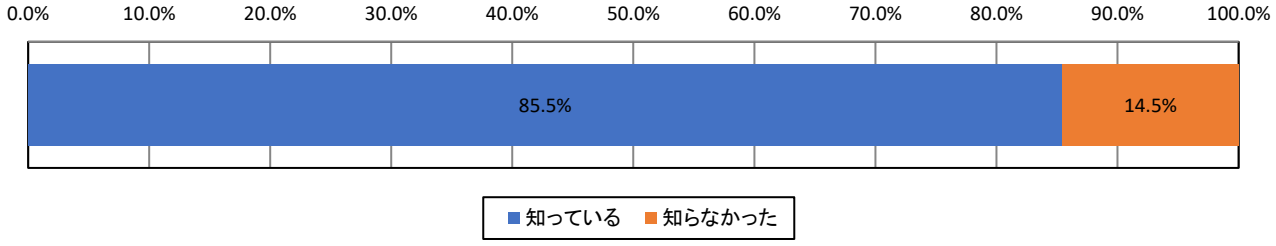
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	SNSやインターネットなどで探せば見つけることができると思うから	1,130	77.7%
2	SNSやインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	254	17.5%
3	友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	195	13.4%
4	繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから	258	17.7%
5	それ以外	61	4.2%
	合計	1,455	

共通質問20　あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品（脱法ハーブ、合法アロマリキッド、ゾンビたばこなど）の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になっていることを知っていますか。
（1つ選択）



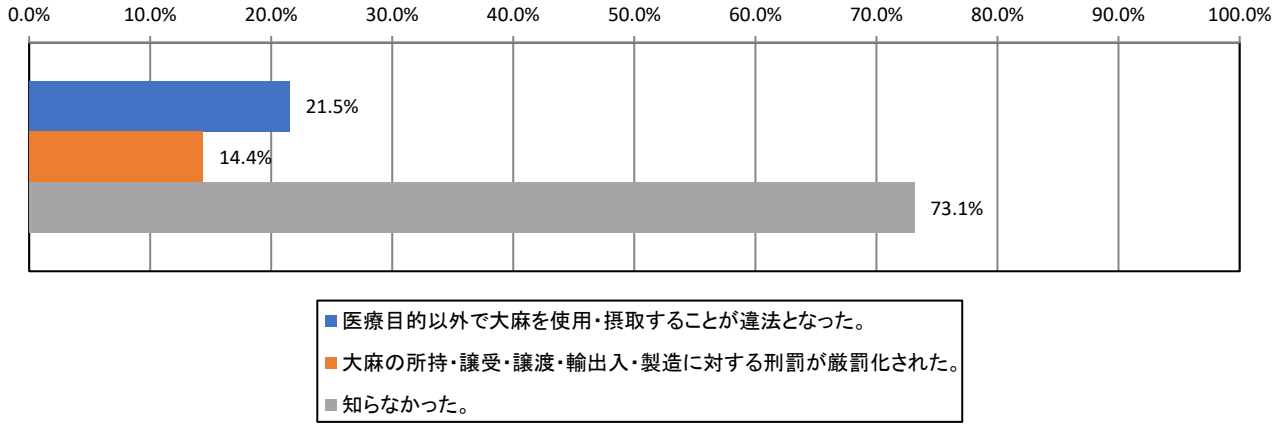
No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	知っている	16,417	76.4%
2	知らなかった	5,077	23.6%
	合計	21,494	100.0%

共通質問21　あなたは、「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」が社会問題になっていることを知っていますか。
（1つ選択）
「市販薬の過剰摂取（オーバードーズ）」とは、市販薬（かぜ薬・解熱剤・鎮痛剤・睡眠薬など）を定められた用法・用量以上に服用する（過剰摂取する）ことで、薬物への依存が高まるだけでなく、内臓機能障害や最悪の場合は心肺停止で死亡するケースもある、薬物乱用の一種です。



No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	知っている	18,367	85.5%
2	知らなかった	3,127	14.5%
	合計	21,494	100.0%

共通質問22　　2023年12月に「大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律」が成立し、2024年12月12日にその一部が施行されていますが、この施行内容について知っていますか？
（複数選択可）



No.	カテゴリー	件数	（全体）%
1	医療目的以外で大麻を使用・摂取することが違法となった。	4,627	21.5%
2	大麻の所持・譲受・譲渡・輸出入・製造に対する刑罰が厳罰化された。	3,086	14.4%
3	知らなかった。	15,717	73.1%
	合計	21,494	